

抗 EGFR 抗体薬

適応症;大腸癌

FOLFIRI(イリリテカン・5-FU・レボホリナート)、mFOLFOX6(オキサリプラチン・5-FU・レボホリナート)、XELOX(オキサリプラチン・セローダ)と併用することが多い。

主な副作用;

・infusion reaction

抗原抗体反応の一種

投与数分から 24 時間以内に発熱、悪寒、嘔気、頭痛、発疹等インフルエンザ症状など

重篤な場合はアナフィラキシー症状も起こる

→予防のためステロイド、H2 ブロッカーを投与

・皮膚障害

・下痢

・口内炎

・電解質異常

・間質性肺炎

《比較》

ベクティビックス(パニツムマブ):完全ヒト型抗体→infusion reaction でにくい

皮膚障害でやすい

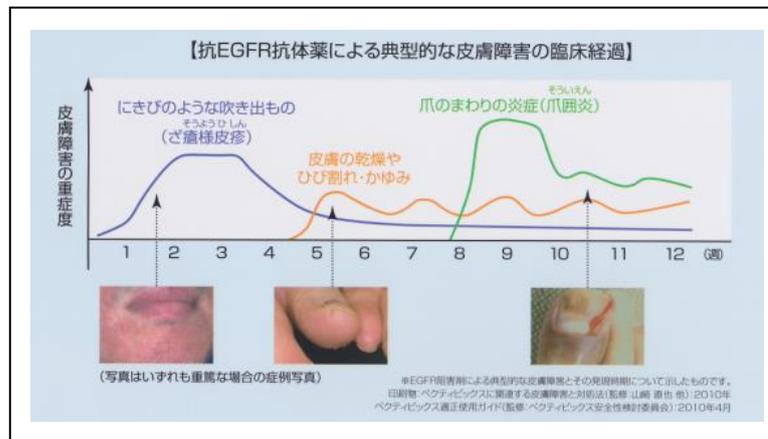
2 週に1回投与

アービタックス(セツキシマブ):マウス抗体とのキメラ型→infusion reaction でやすい

皮膚障害でにくい

毎週投与

※皮膚障害について



《予防薬》

治療前より保湿剤・角質軟化剤を開始 【保険病名;皮脂欠乏性皮膚炎・ざ瘡】

Rp1)ユベラ軟膏 1日2回 角質の硬いところに (処方目安:56g)

Rp2)ヒルドイドローション 1日2回 顔面や前胸部 (処方目安:25g)

Rp3)ディフェリンゲル 1日1回 顔面に薄く伸ばす・ニキビ予防 (処方目安:15g)

Rp4)ミノマイシン(100) 2C/2x ざ瘡様皮膚炎予防 (6週間後に減量、中止)